

大丈夫、



本日3月24日、熊本学園大学を卒業するきみへとうとうこの日がやってきましたね。きみが過ごした学生生活の間、世界は歴史に残るほど「変化した」。人生の節目と、時代の節目を同時に経験したきみは、きっとたくさんさんの感情を抱えて過ごしてきたと思う。明日から新たな歩みが始まる。これから先も大きな時代の変化は続いていくだろう。技術革新による変化、新型コロナウイルスの影響による変化、そして世界情勢も日々変わっている。変化のスピードはあまりにも速く、ときに私たちに大きな問題が立ち上がることもある。しかし、忘れたいではない、こんな激動の時代だからこそ、人と人とのつながりが大切になるということ。前を向くと、6,577人の同窓生との強い絆がある。つまり、きみには大丈夫、がいる。さうだから、大丈夫、自信を持って、みらい、未来を歩んでください。

きみの味方は、 大勢いる。

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

学部長 長尾 幸博
熊本学園大学 学長 熊本学園大学 行徳 昌彦
熊本学園大学 校長 熊本学園大学 行徳 昌彦

80th
2022年
熊本学園創立80周年



得意先の社長は味方でした。

熊本県内企業の社長の数が一番多いのは、熊本学園大学。きみの歩み先々に、熊本の経済を牽引する企業のリーダーがいる。このことは、これから社会に出るきみの後押しになるでしょう。



熊本の人は、熊本学園大学が好き。

手前味噌ですが、そう感じることがたびたびあります。それは、在学生や卒業生が地域社会と連携して様々な課題に取り組み、ともに成長し続けてきたからだと思います。

教授をお母さんと呼んでしまった。

…という笑い話を聞いたことがあります。
熊本学園大学 学長 熊本学園大学 行徳 昌彦
建学の精神「師弟同行」「全学一家」のように、卒業しても、きみと教職員の間には、結びつきが強いのが私たちの大学です。

卒業しても学びにおいで。

熊本学園大学の図書館は、蔵書数約92万冊。西日本有数の図書館です。卒業生は利用できるのをごぜひ学びにきてください。そうそう、おながいなら、学食も利用できますよ。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意し、入館人数を制限しています。

秒速で親友。

「熊本学園大学出身です」このひと言が、急速に人との距離を縮めてくれる。それは大学の名をなかに、遠くしてきたキャンパスの空気が、ボディランゲージが、つまっているから。



きみの家族は、99,657人いる。

建学の精神のひとつ「全学一家」は、教職員と学生が一体となる学園のこころ。この精神が学園の歴史の中で息づき、同窓生の地盤なネットワークを築いているのです。



くまもと歩けば、味方に出会う。

「一家にひとり、親戚にひとり、熊本学園大学の関係者はいはよく言われます。街で、職場で、生活のあらゆる場面で、私たち熊本学園大学は、強くつながっているのです。



大人になると出会いが少ない？

答えはNOだ。熊本学園大学の同窓生はあらゆる場所ですぐに仲良くなる。学生時代より卒業してからの方が、ずいっと出会いが多いと話す卒業生はたくさんいます。



お笑い芸人、政治家、アナウンサー… こんなところにも先輩が。

公務員や教師、福祉系に専門職に卒業生が多いのはよく知られていますが、ほかにも驚くほど多様な業界に卒業生はいらんでいますよ。



最近の熊本ってイケてるね。

最近の熊本の発展には、目を覚ますものがあると思いませんか？ 街の再開発、熊本駅の新ビル、2023年に生まれ変わる熊本空港など、それらの計画や開発の中心で、きみの先輩たちは活躍しています。



涙で別れを惜しんだ。入社式で再会した。

今年の卒業生は、1,112名。同窓生と就職先が一緒だったという話はよくあることです。きみがどの業界に進んでも仲間がいる。それは、きみの大きな強みです。



絆は卒業しません。

本日は卒業式ですが、熊本学園大学の絆はこの先もずっと続いていきます。この絆は、きみを困難から救ってくれたり、人生を豊かかなものへと導いてくれるでしょう。



松岡泰輔さん(80歳)は、きみを応援している。

松岡泰輔さんは、熊本学園大学の前身である熊本商科大学の第8期卒業生。熊本学園大学は、2022年で80周年。80年分の歴史と人脈がきみを応援しているのです。



世界で会いましょう。

卒業生の活躍先は、熊本や九州だけではない。遠くはなれた海外で活躍している卒業生がたくさんいます。世界のような場所で、先輩たちはきみを歓迎してくれるでしょう。



[きみ]×[仲間]=無限のパワー

きみのちからと、仲間のちから。タッグを組むとそのパワーは何倍にもなる。世界にはひとりでは解けない問題がたくさんある。無言無言な仲間とタッグに未来を切り開いてください。



きみらしく自由に進め。

建学の精神のひとつに「自由進達」という言葉があります。80年前、自由が今ほどあつたりまではなかった時代から、人と人が支えあひながら、自由を築く精神が、脈々と受け継がれているのです。



本日は熊本学園大学の卒業式です。1,112人のみなさん卒業おめでとう。

【出典】3年を卒業する熊本学園大学の同窓生